

socionext™

2022年度 第2四半期 決算概要

2022年10月31日
株式会社ソシオネクスト

socionext™

会社紹介

- － 会社概要
- － “ソリューションSoC”ビジネスモデル
- － 事業変革 他

2022年度第2四半期連結決算



- 当社は、最先端かつ革新的なチップを求める顧客に最適なSoCを提供するため、新しい独自のビジネスモデルである“ソリューションSoC”を構築

企業概要



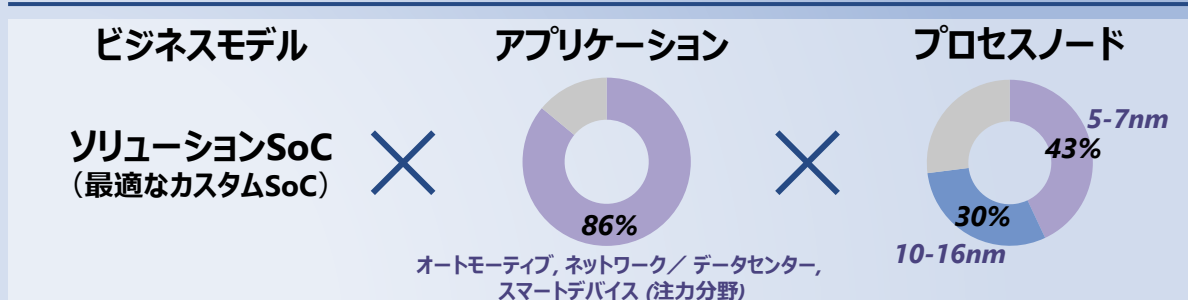
事業内容	資本金	従業員数 ¹ 22/9/30時点
カスタムSoCの設計・ 開発および販売	302億円	従業員数 2,546 うちエンジニア ² 約1,900

主要財務数値（2021年度）

売上高	売上高成長率 (前年比)	営業利益率
1,170億円	17.3%	7.2%

1. 従業員数及びエンジニア数は連結ベースの数字
2. 国内外各拠点における開発・評価等の部門に所属する人員数
3. 当社がOmdia社データにもとづき推計

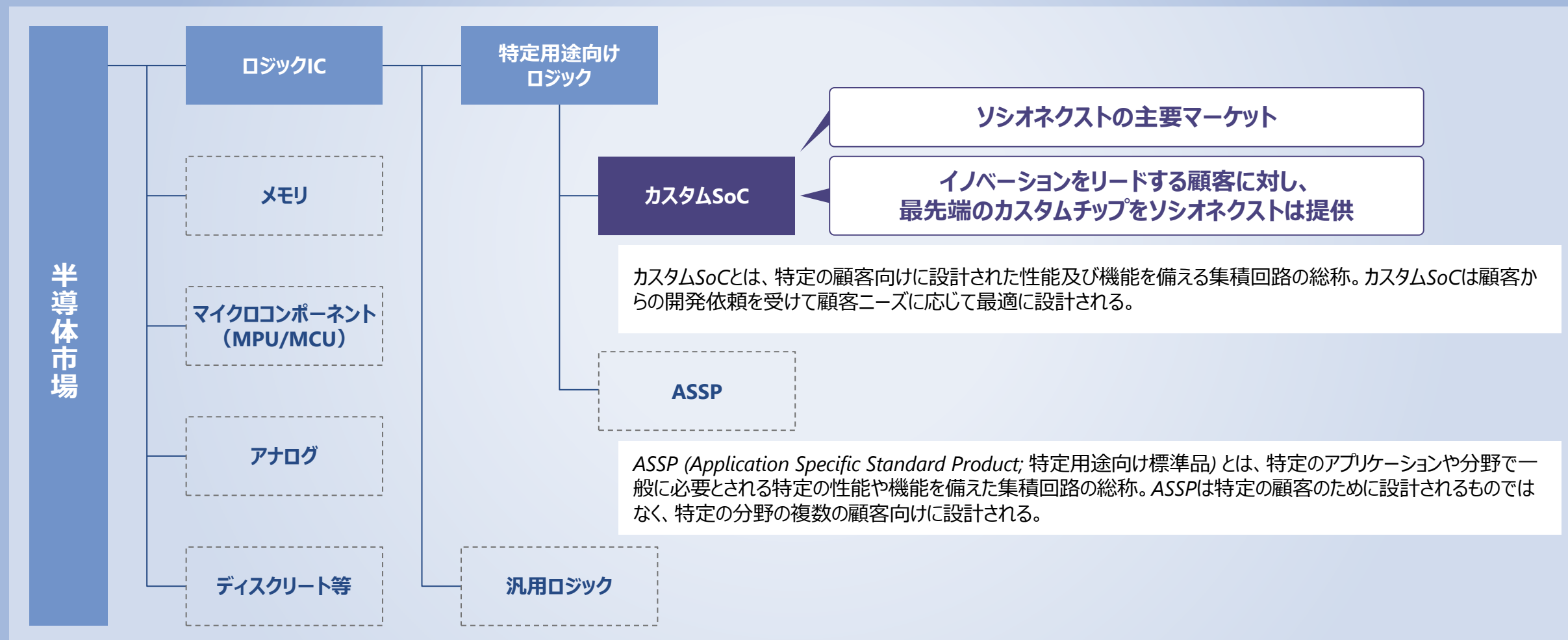
事業概要（比率は2021年度のNRE売上に占める比率）



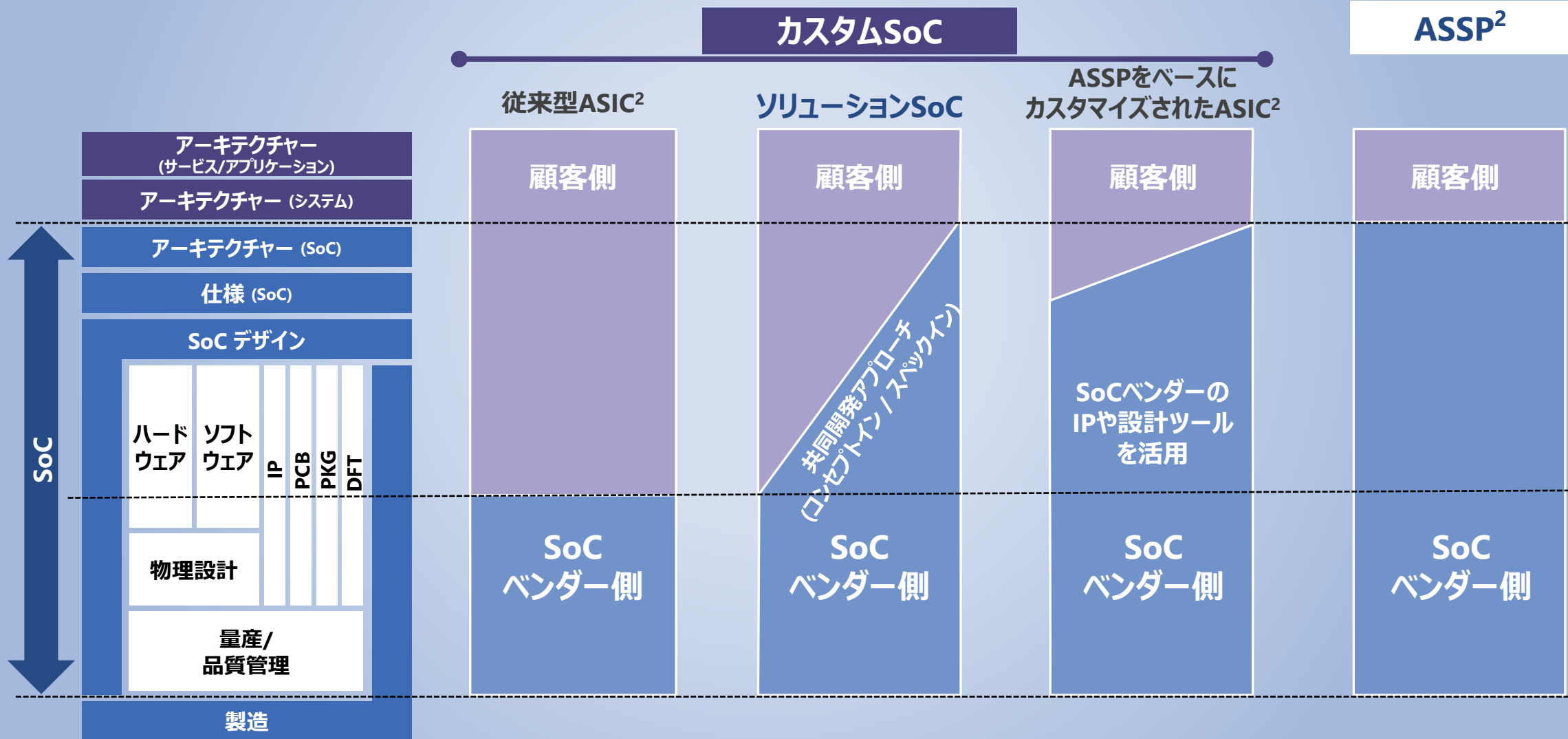
～半導体市場の中のカスタムSoC市場～



- 当社は、特定の顧客向けにSoCをオーダーメイドで設計するカスタムSoC市場で主に事業を展開（ASSPは同様に特定用途向けチップであるものの、特定顧客向けに設計されたものではない）

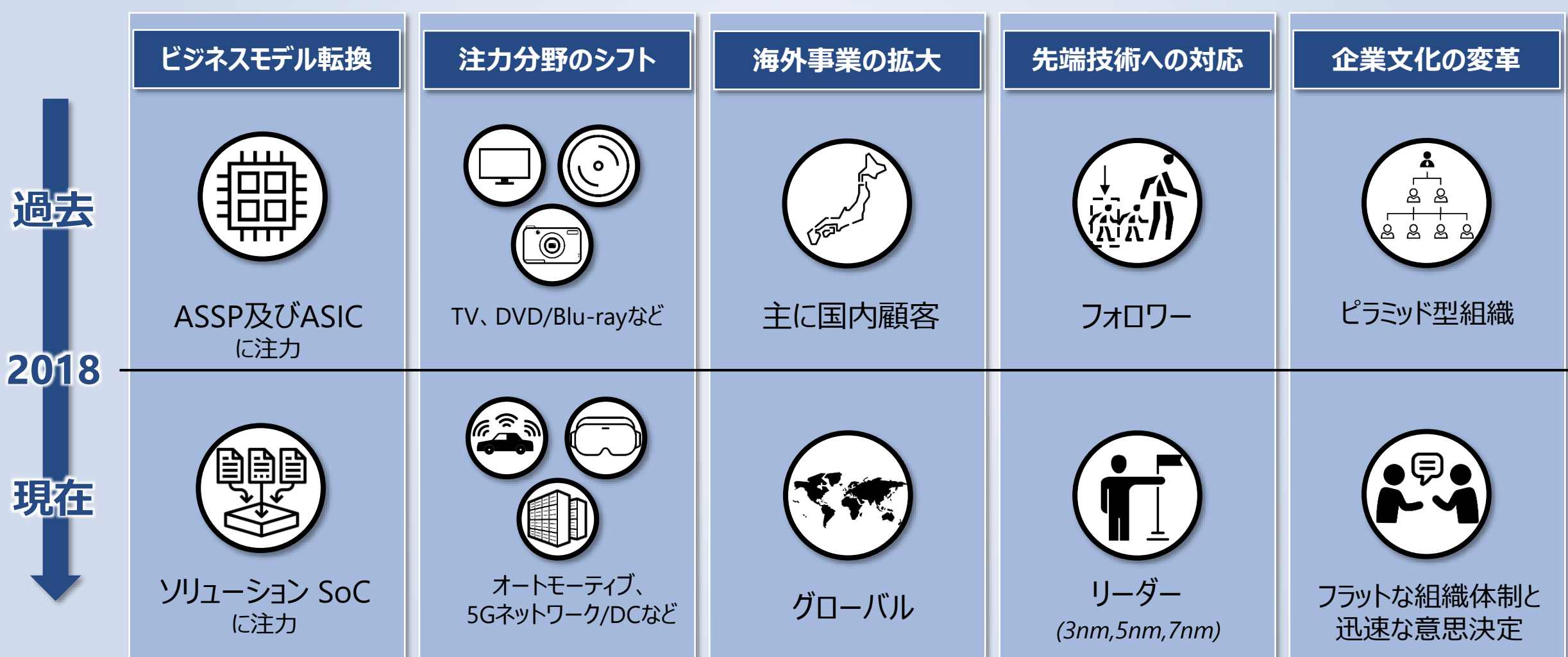


- 従来型ASIC² とソリューションSoCの主な違い：顧客とのインターフェース
- ソリューションSoCとASSPをベースにカスタマイズされたASIC²の主な違い：カスタマイズの幅



1. 本スライドは当社独自の認識を基に作成
2. 図表は当社独自の認識を基に、業界内の企業分類のフレームワークを図示化したもの

- 事業及び企業文化の変革を通じ、新しい独自のビジネスモデル“ソリューションSoC”で業界をリードするグローバルなカスタムSoCベンダーに転換



商談獲得から量産までのイメージ

“商談獲得金額”とは

“商談獲得金額”とは

“商談獲得金額”は、獲得した商談から見込まれる将来の顧客需要に関する当社の予測を示している。

“商談獲得金額”はNRE由来のものと製品由来のものに分けられる。“商談獲得金額”は、プロジェクトが量産段階に進むと製品売上に貢献する見込み

なお、当社は“商談獲得金額”を例えば以下のように保守的に算出している

- 顧客に提示された売上高予想ではなく、当社予測による製品単価や将来の製品の販売数量等の一定の前提に基づいて個別の“商談獲得金額”を予測¹
- 想定為替レートは1ドル = 100円を使用

商談獲得から量産までの時間軸イメージ²

“商談獲得
金額”

0年目

1年目

2年目

3年目

4年目

5年目

6年目

7年目以降

★
商談獲得

設計開発

量産

製品売上
当社の営業利益の主な源泉

NRE売上

売上高

費用

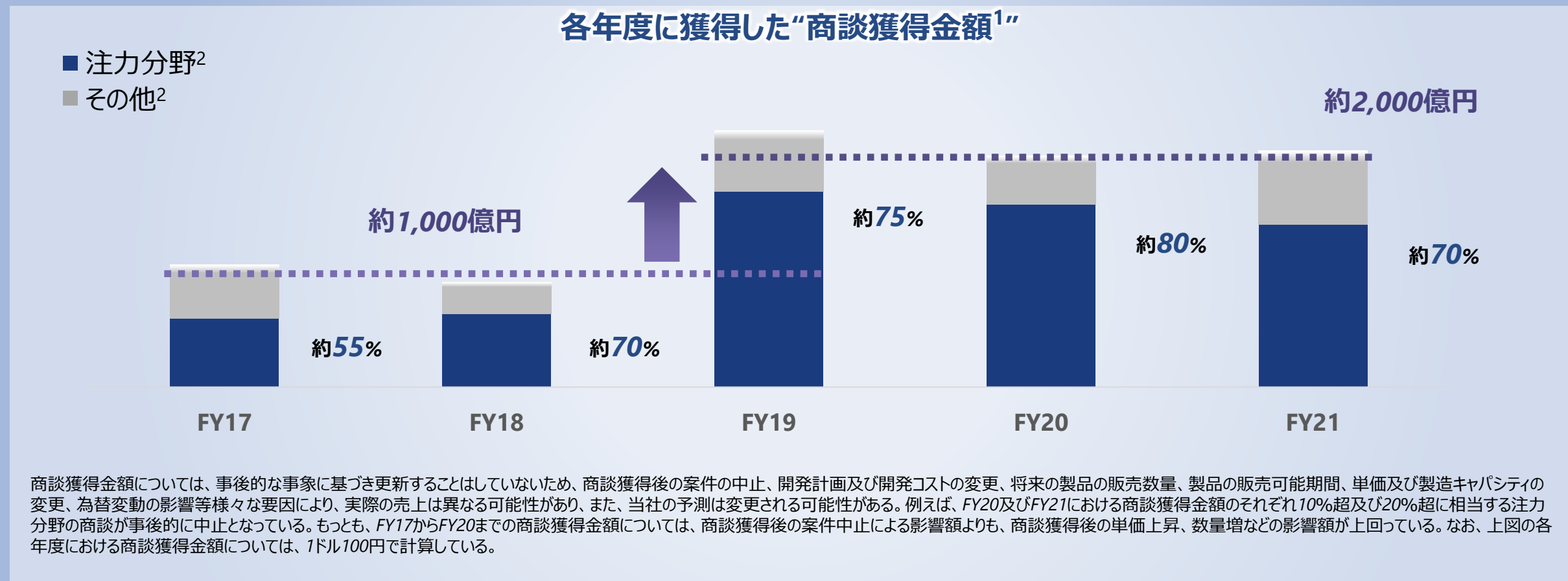
研究開発費

売上原価

1. P25の「商談獲得金額に関する注意事項」参照
2. 説明目的の図であり、製品開発から量産までの実際のタイムラインは、製品や実際の顧客の需要によって大きく異なる場合もある

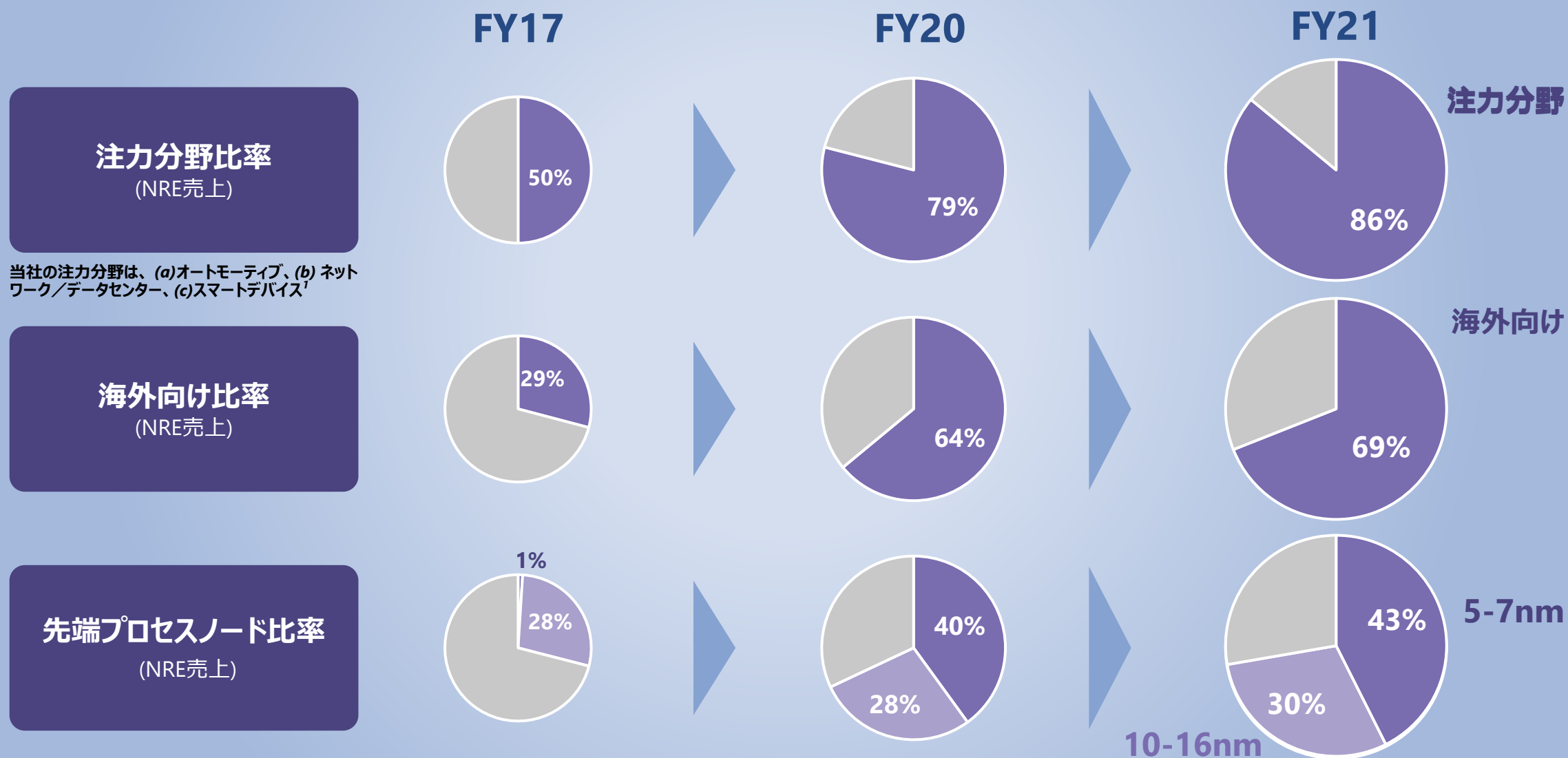
注力分野における好調な商談獲得

- 2018年以降の事業変革を経て、年間“商談獲得金額¹”は注力分野²を中心に約2倍に増加



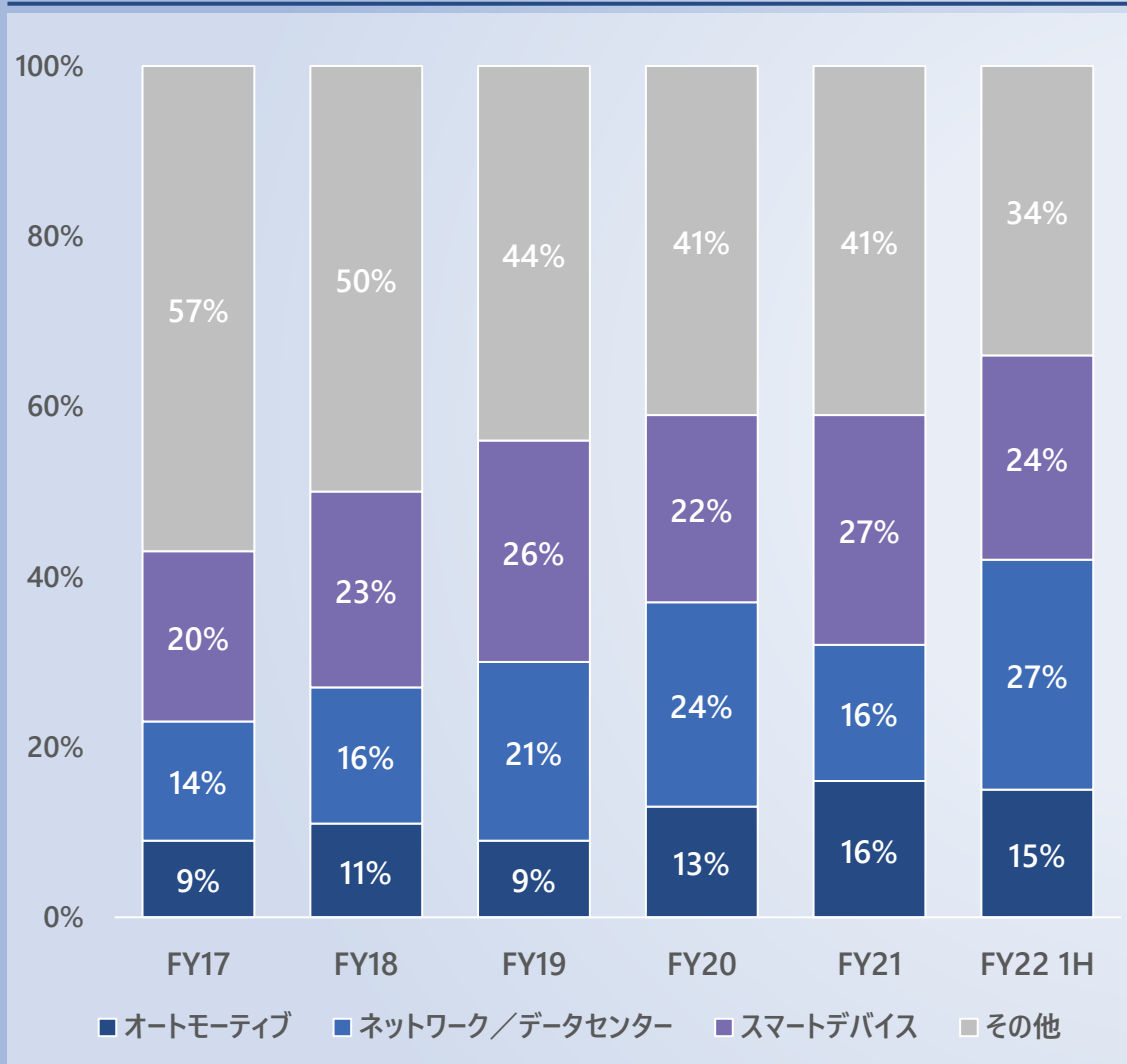
- 「商談獲得金額」は、ある期間に獲得された商談について、顧客との間で設計開発に係る契約を締結した時点（商談獲得時点）における、将来の設計開発及び量産に至る販売全期間における顧客需要に関する当社の予測を示した当該期間末時点の金額である。これは、商談から得られる売上等に関する合理的と考えられる様々な前提に基づく当社の予測であり、主観的判断が相当程度含まれている。商談獲得金額については、事後的な事象に基づき更新することはしていないため、商談獲得後の案件の中止、開発計画及び開発コストの変更、将来の製品の販売数量、製品の販売可能期間、単価及び製造キャパシティの変更、為替変動の影響等様々な要因により、実際の売上は異なる可能性があり、また、当社の予測は変更される可能性がある。なお、当社は、遡及的に金額を更新することなく、商談獲得金額の算出方法を継続的に見直しているため、期間毎の直接的な比較は、中長期的なトレンドを示す以上の意味を有しない可能性がある。
- 当社の注力分野は(a)オートモティブ、(b)ネットワーク／データセンター、(c)スマートデバイス。その他にはインダストリアルやIoT&レーダーセンシング（RF-CMOS ソリューション）等を含む

■ NRE売上構成の変化が事業変革の進展を示している

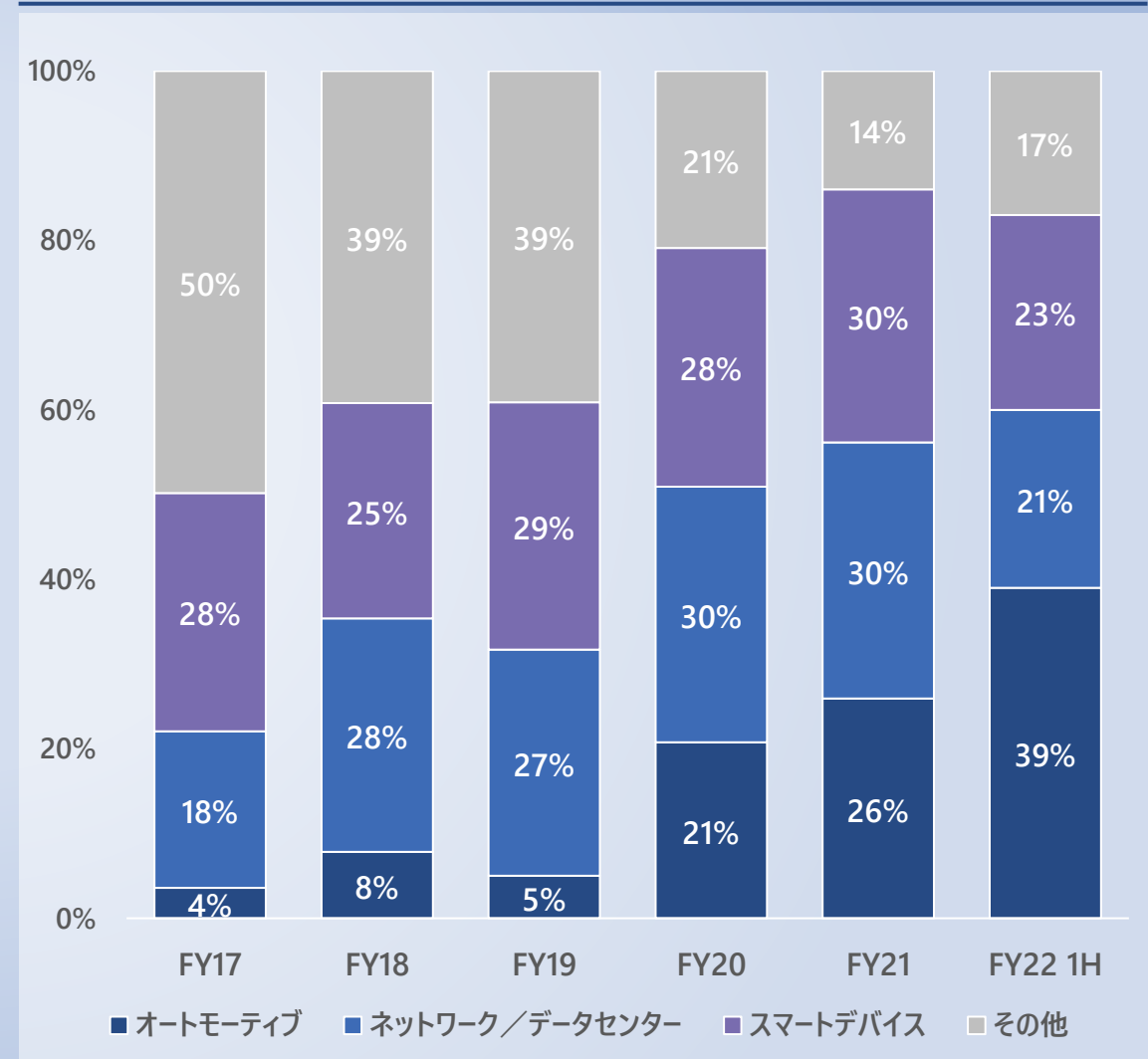


1. スマートデバイス市場向けとしては、ARやVRのみならず、アクションカメラやデジタルカメラ向けのSoCも開発している

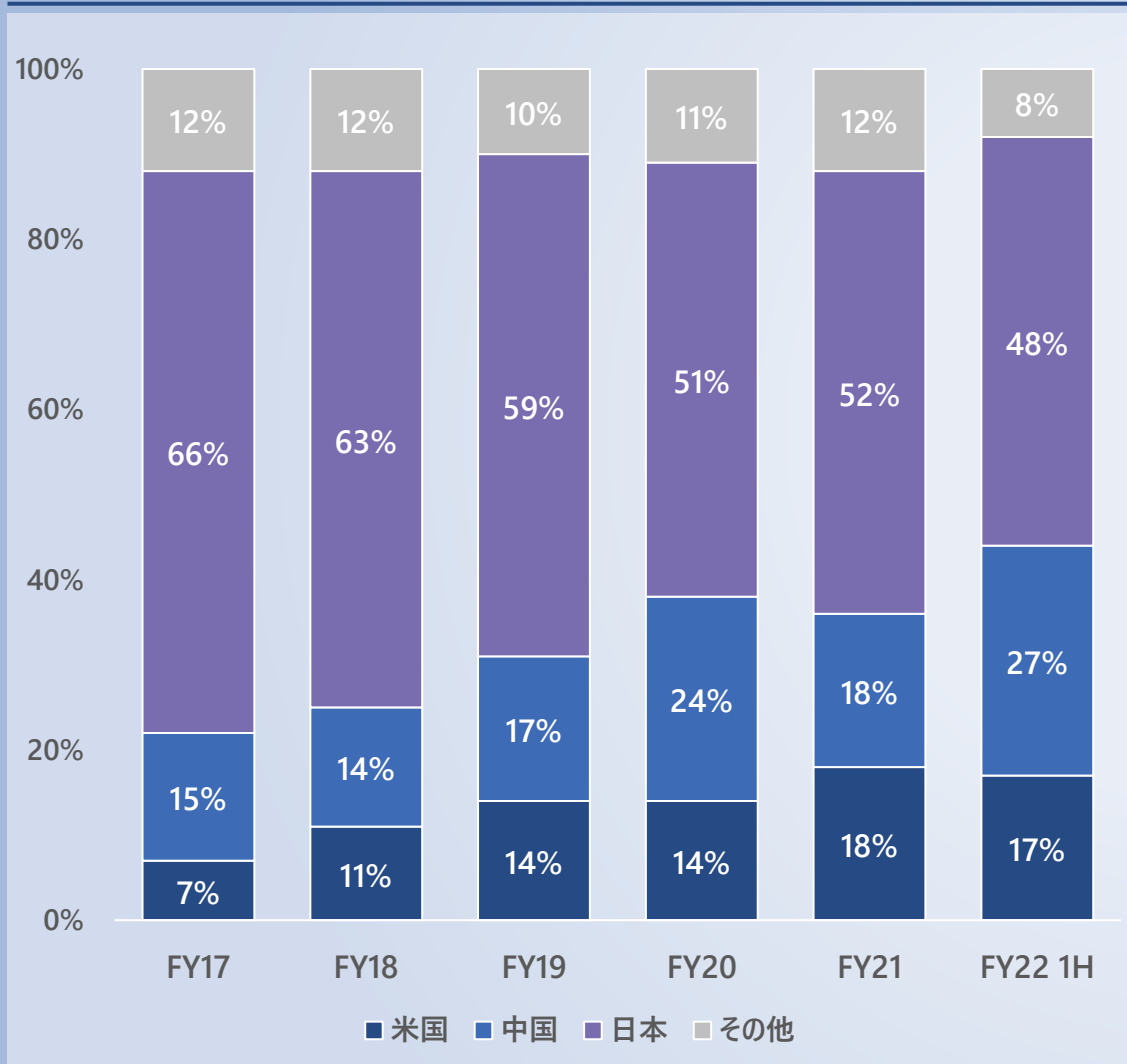
売上高



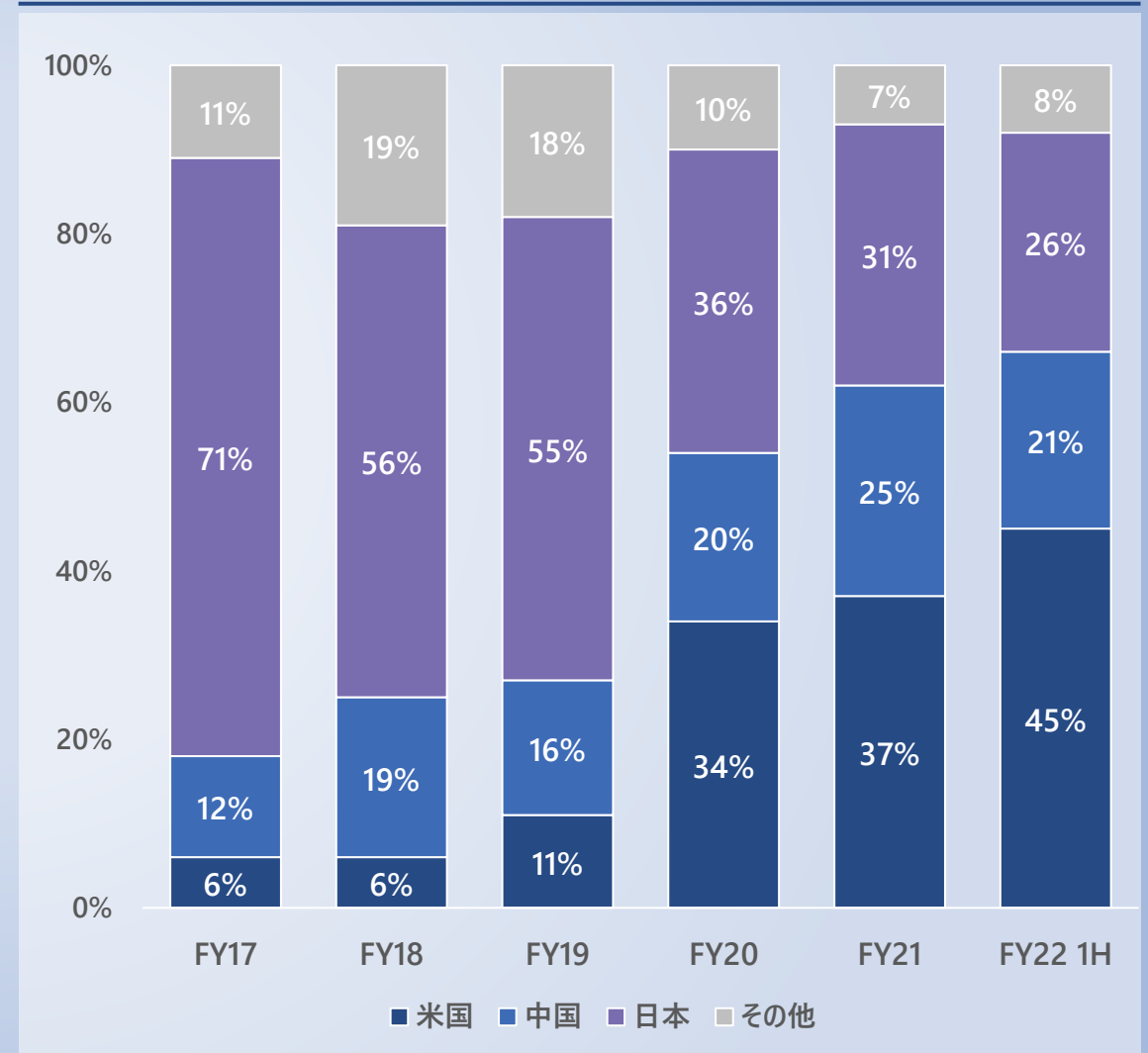
NRE売上



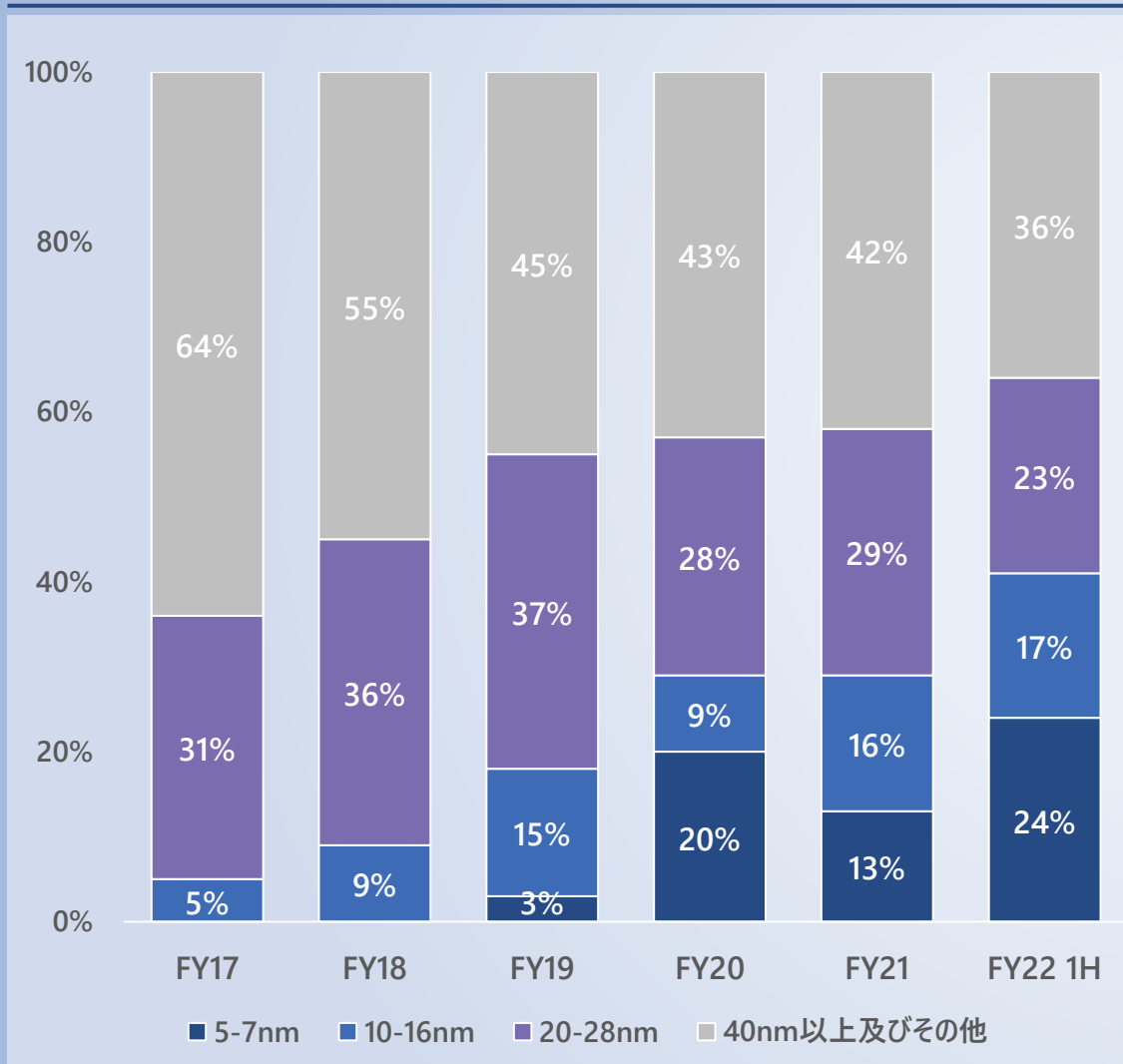
売上高



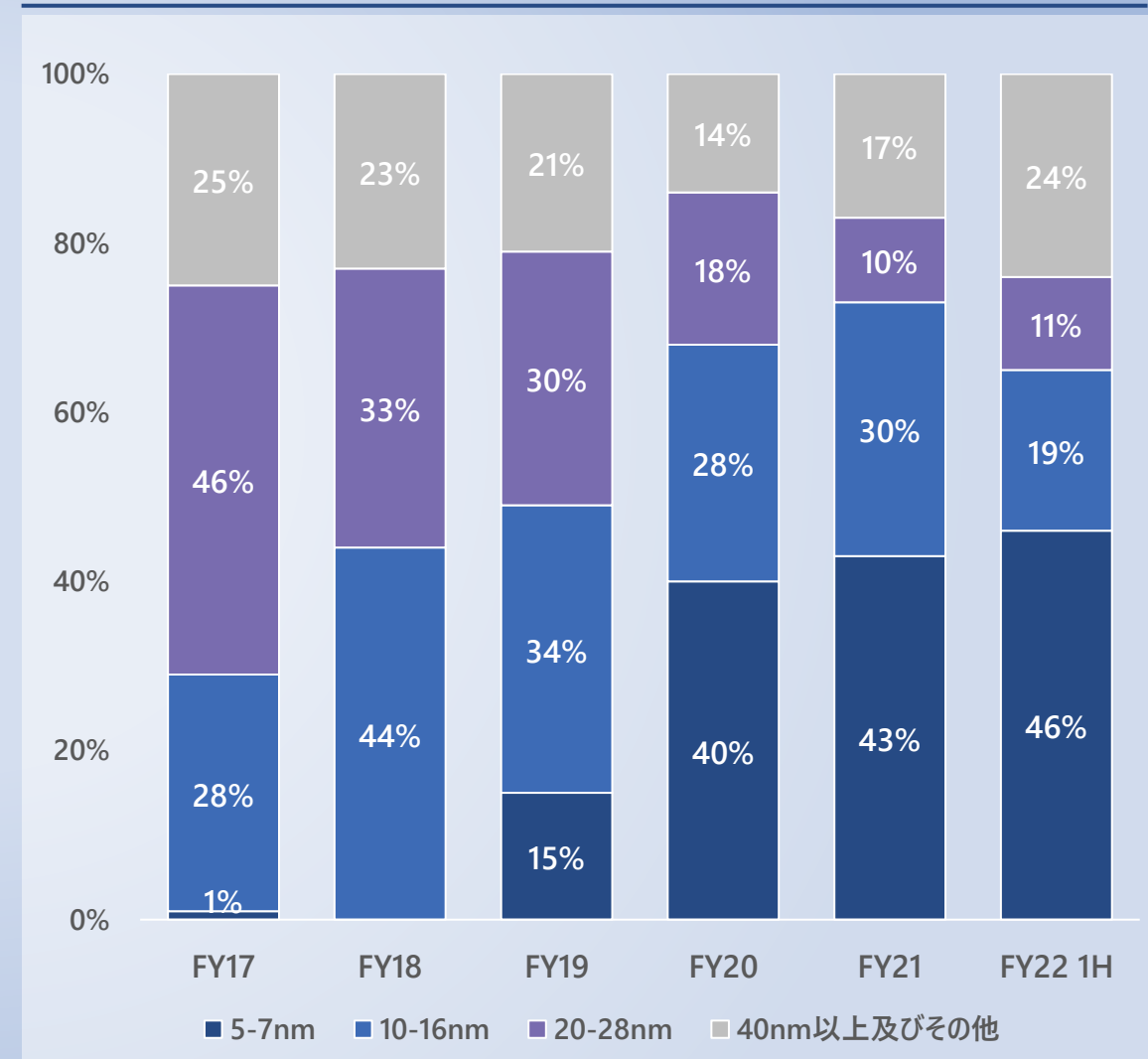
NRE売上



売上高



NRE売上



socionext™

会社紹介

2022年度第2四半期連結決算

- 2022年度第2四半期実績
- 2022年度通期予想



2022年度第2四半期 損益計算書

(単位：億円)

	2021年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年同期比	増減率
売上高	271	283	298	318	399	428	+145	+51.1%
製品売上	192	212	204	237	310	353	+141	+66.4%
NRE売上	64	64	77	75	87	74	+9	+14.5%
その他	15	7	16	5	2	2	-5	-74.0%
売上原価	119	122	121	135	199	221	+99	+81.3%
販売費及び一般管理費	144	136	153	155	145	159	+22	+16.5%
研究開発費	104	100	115	113	106	115	+16	+15.6%
販売費・管理費	40	37	38	42	39	44	+7	+18.9%
営業利益	8	25	24	27	56	49	+23	+91.9%
営業利益率	3.0%	8.9%	8.0%	8.7%	14.0%	11.4%	+2.5%pt	
当期純利益	2	24	21	28	51	50	+25	+102.6%
純利益率	0.6%	8.6%	6.9%	8.9%	12.7%	11.6%	+3.0%pt	
為替レート(USD/JPY)	109.5	110.1	113.7	116.2	129.6	138.4		

* 2021年度の四半期の数値については、監査法人による監査およびレビューを行っておりません。

2022年度上期 損益計算書

(単位：億円)

	2021年度		2022年度		
	1H	2H	1H	前年同期比	増減率
売上高	554	616	828	+273	+49.3%
製品売上	404	441	663	+259	+64.0%
NRE売上	128	153	161	+33	+25.4%
その他	22	21	4	-18	-83.6%
売上原価	241	257	420	+179	+74.3%
販売費及び一般管理費	280	308	304	+23	+8.3%
研究開発費	204	228	221	+17	+8.4%
販売費・管理費	76	80	83	+6	+8.2%
営業利益	33	51	105	+71	+212.9%
営業利益率	6.0%	8.3%	12.6%	+6.6%pt	
当期純利益	26	49	100	+74	+285.3%
純利益率	4.7%	7.9%	12.1%	+7.4%pt	
為替レート(USD/JPY)	109.8	115.0	134.0		

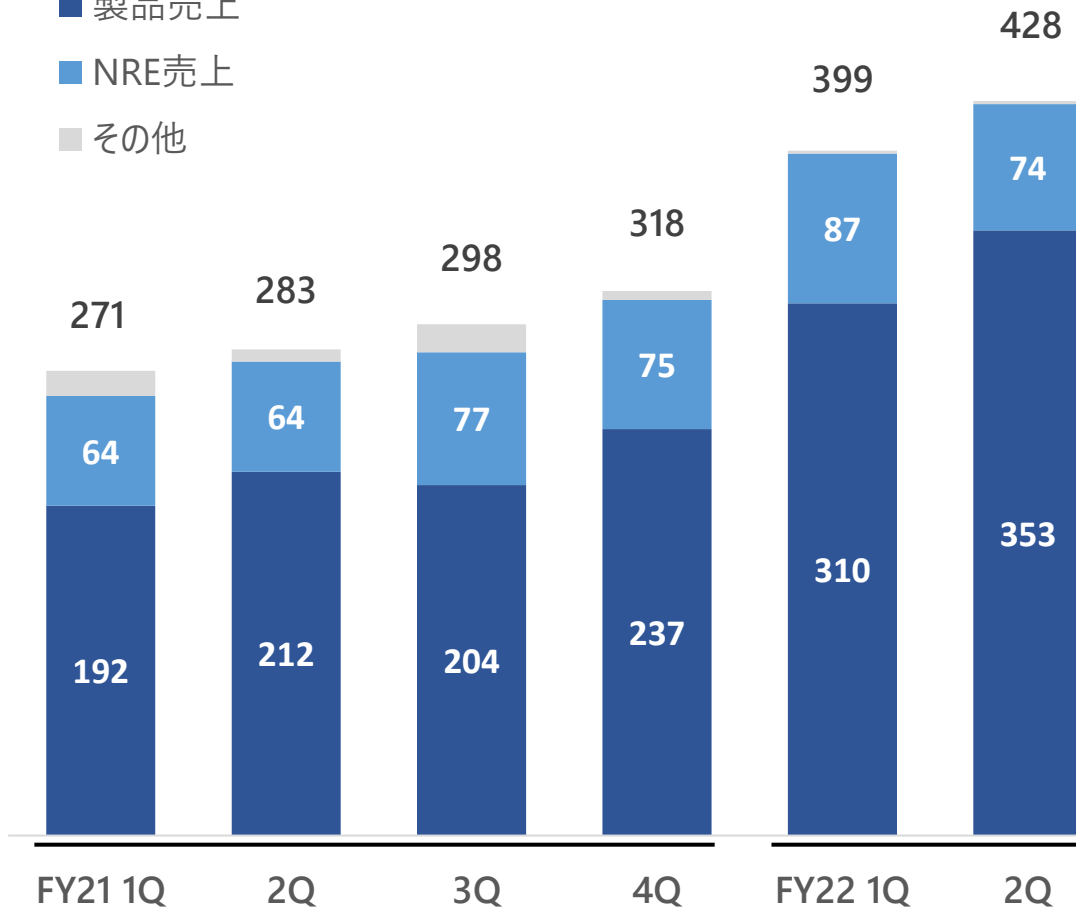
* 2021年度の上期(1H)、下期(2H)の数値については、監査法人による監査およびレビューを行っておりません。

四半期別の売上高および営業利益の推移

売上高

(単位：億円)

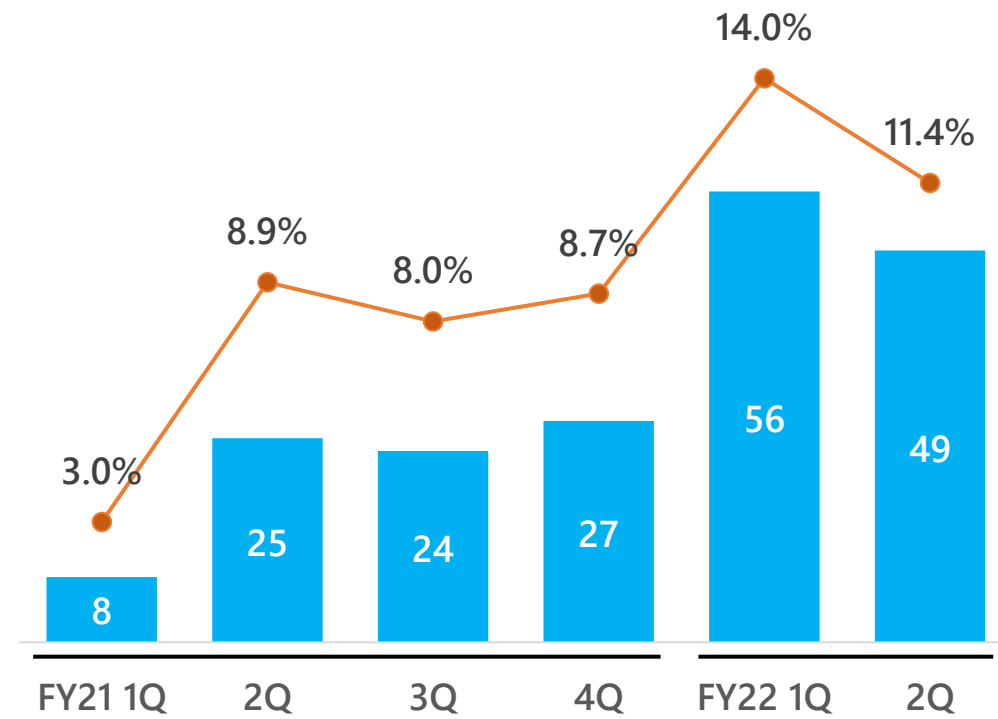
- 製品売上
- NRE売上
- その他



営業利益

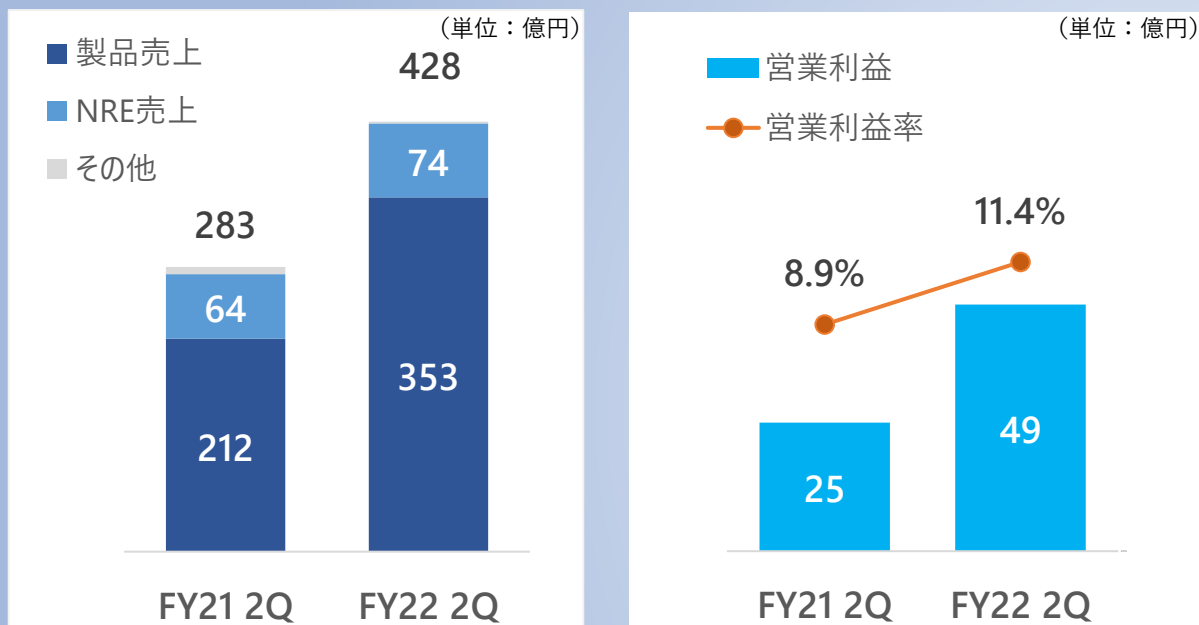
(単位：億円)

- 営業利益
- 営業利益率



* 2021年度の四半期の数値については、監査法人による監査およびレビューを行っておりません。

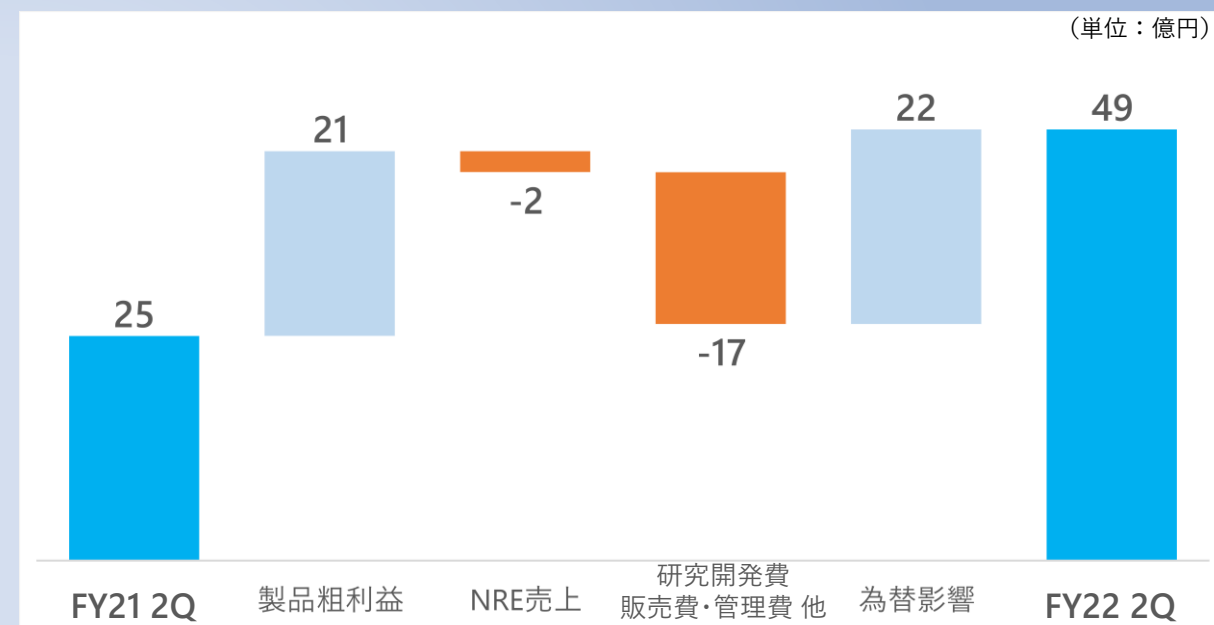
売上高、営業利益 前年同期比



<売上高> 前年同期比+145億円 (+51.1%)

- 製品売上 +141億円 (うち、数量増+83億円、為替影響+58億円)
- NRE売上 +9億円 (うち、為替影響+11億円、実質2億円減)
- その他 -5億円 (知財収入減)
- 円安による影響 +69億円 (1ドル110円 ⇒ 138円)

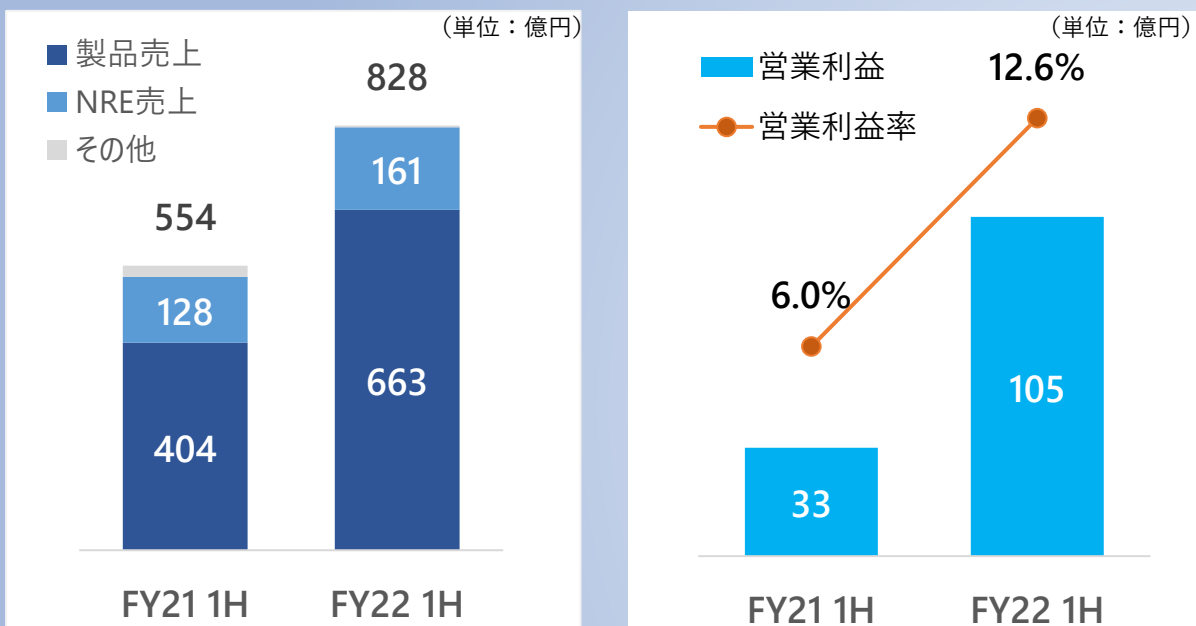
営業利益 前年同期比の変動内訳



<営業利益> 前年同期比+23億円 (+91.9%)

- 製品売上拡大による製品粗利益増 +21億円
- 研究開発費、販管費増 他 -17億円
- 円安による影響 +22億円

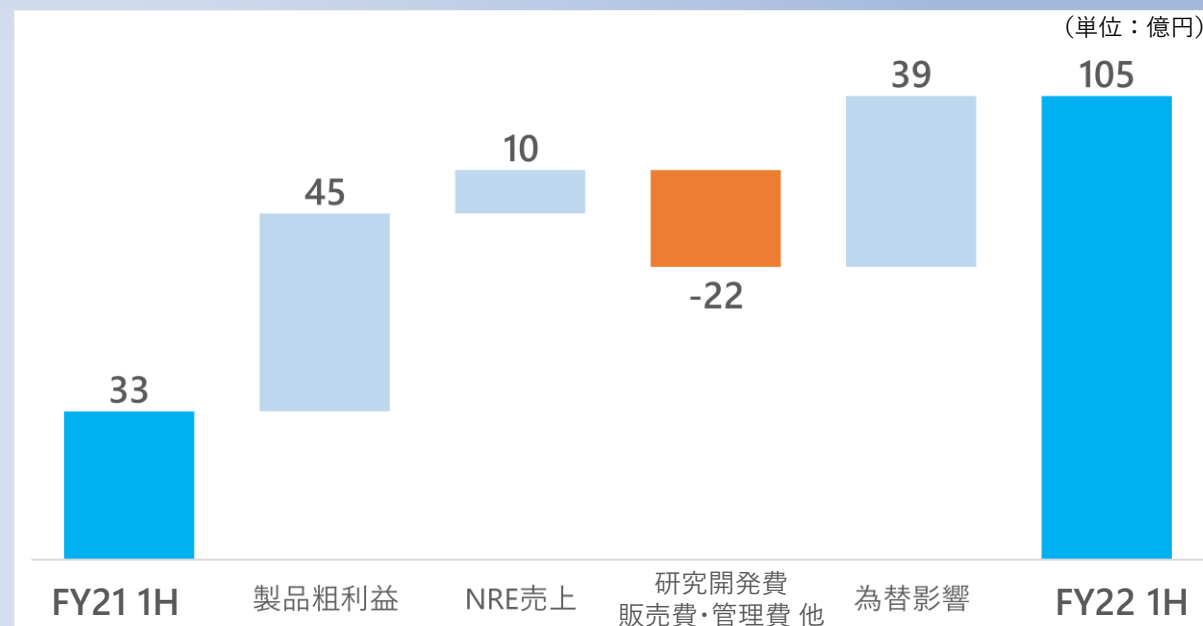
売上高、営業利益 前年同期比



<売上高> 前年同期比+273億円 (+49.3%)

- 製品売上 +259億円（うち、数量増+164億円、為替影響+95億円）
- NRE売上 +33億円（うち、為替影響+23億円、実質10億円増）
- その他 -18億円（知財収入減 うち、為替影響-3億円）
- 円安による影響 +115億円(1ドル110円⇒134円)

営業利益 前年同期比の変動内訳



<営業利益> 前年同期比+71億円 (+212.9%)

- 製品売上拡大による製品粗利益増 +45億円
- NRE売上増による増 +10億円
- 研究開発費、販管費増 他 -22億円
- 円安による影響 +39億円

(単位：億円)

	2021年度実績	2022年度予想	前年比	増減率
売上高	1,170	1,700	+530	+45.3%
営業利益	85	170	+85	+100.9%
営業利益率	7.2%	10.0%	+2.8%pt	
当期純利益	75	130	+55	+73.8%
当期純利益率	6.4%	7.6%	+1.2%pt	
1株当たり当期純利益	222円18銭	386円14銭		
1株当たり配当金	-	160円00銭		

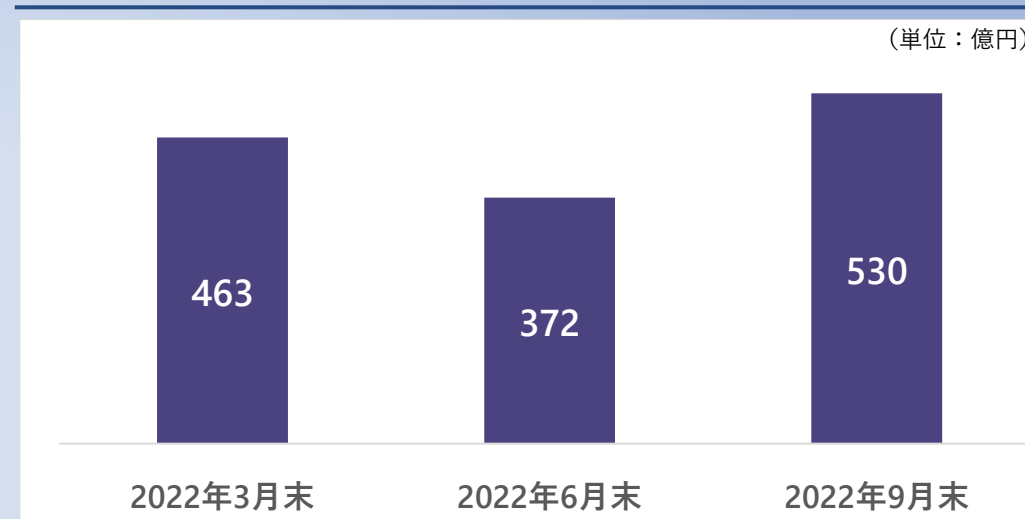
- 2022年度下期の為替前提は1ドル=120円。
- 為替感応度は、ドルに対して、1円の変動で年間、売上高約10億円、営業利益約3.5億円。他の通貨についての影響は軽微。

貸借対照表（2022年9月末）

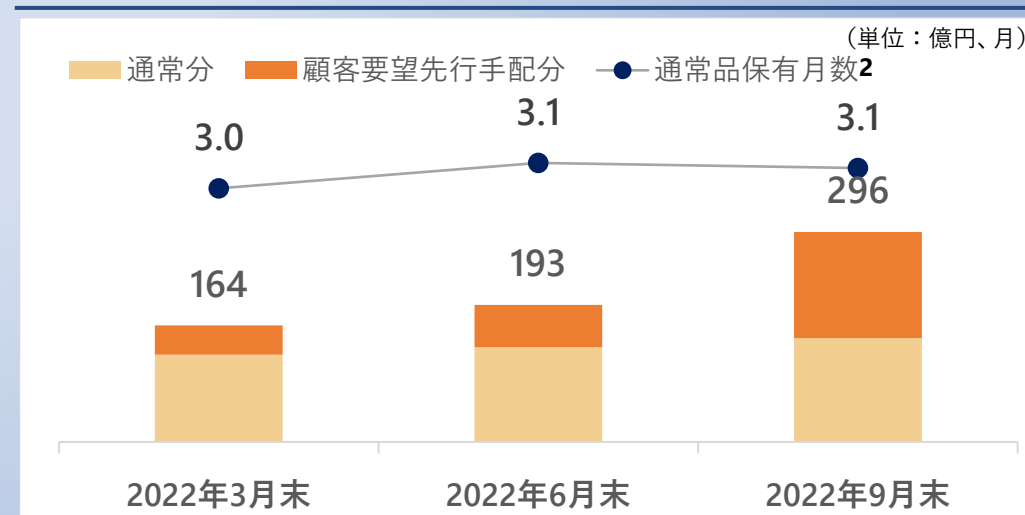
	2022年 3月末	2022年 9月末	増減
資 産	1,184	1,689	+504
流動資産	906	1,354	+448
現預金	463	530	+67
売掛金	251	316	+66
棚卸資産 ¹	164	296	+132
未収入金	9	150	+141
固定資産	278	334	+56
負 債	288	684	+396
流動負債	274	666	+392
買掛金	166	302	+136
未払金	21	121	+101
有償支給に係る負債	-	133	+133
純 資 産	896	1,005	+109
自己資本比率	76%	59%	

（単位：億円）

現預金残高



棚卸資産残高



1. 棚卸資産は製品と仕掛品の合計
 2. 通常品保有月数 = 通常品棚卸資産金額 ÷ 3ヵ月平均の製品原価金額

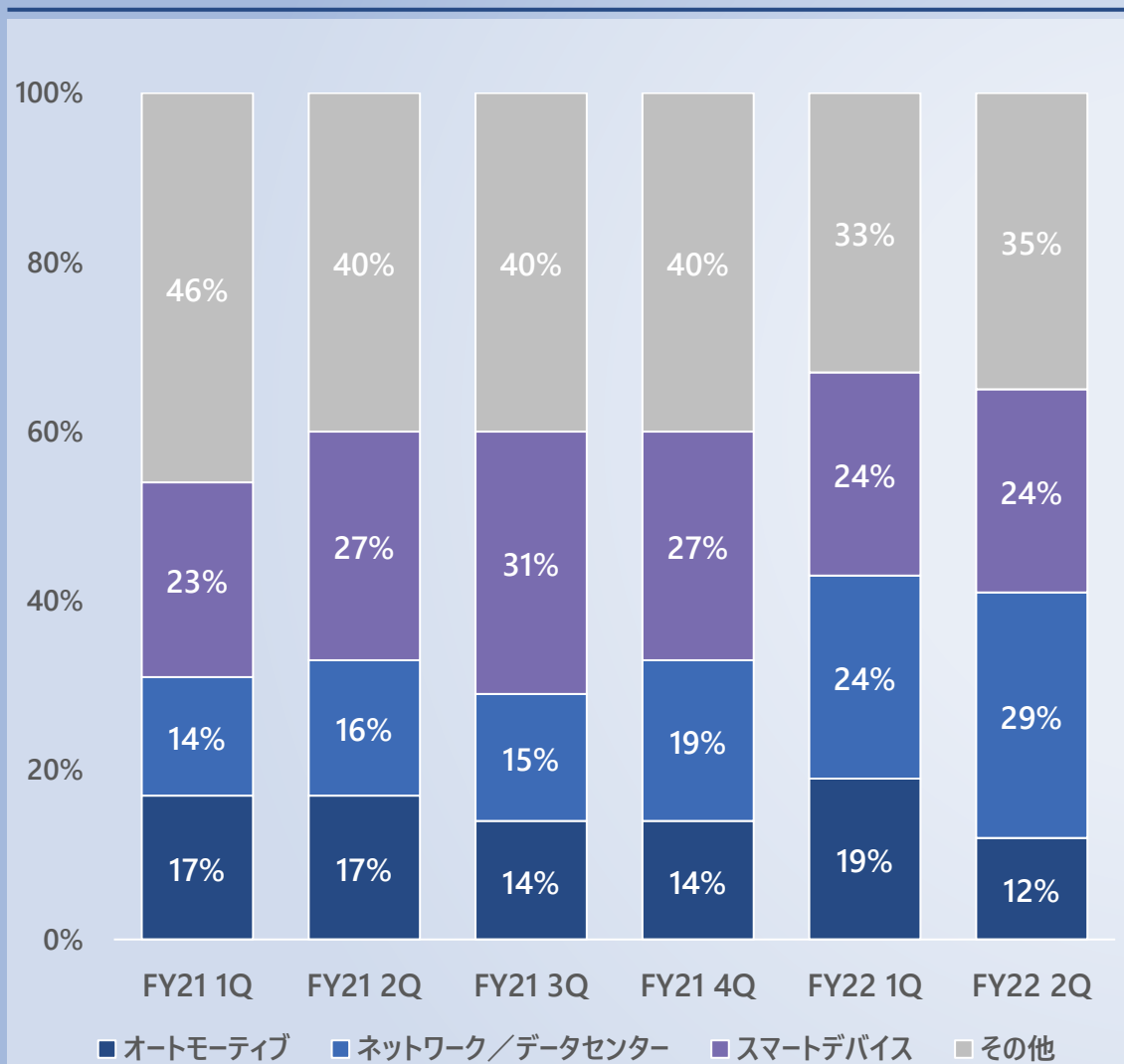
socionext™

Appendix: 売上の内訳 四半期別

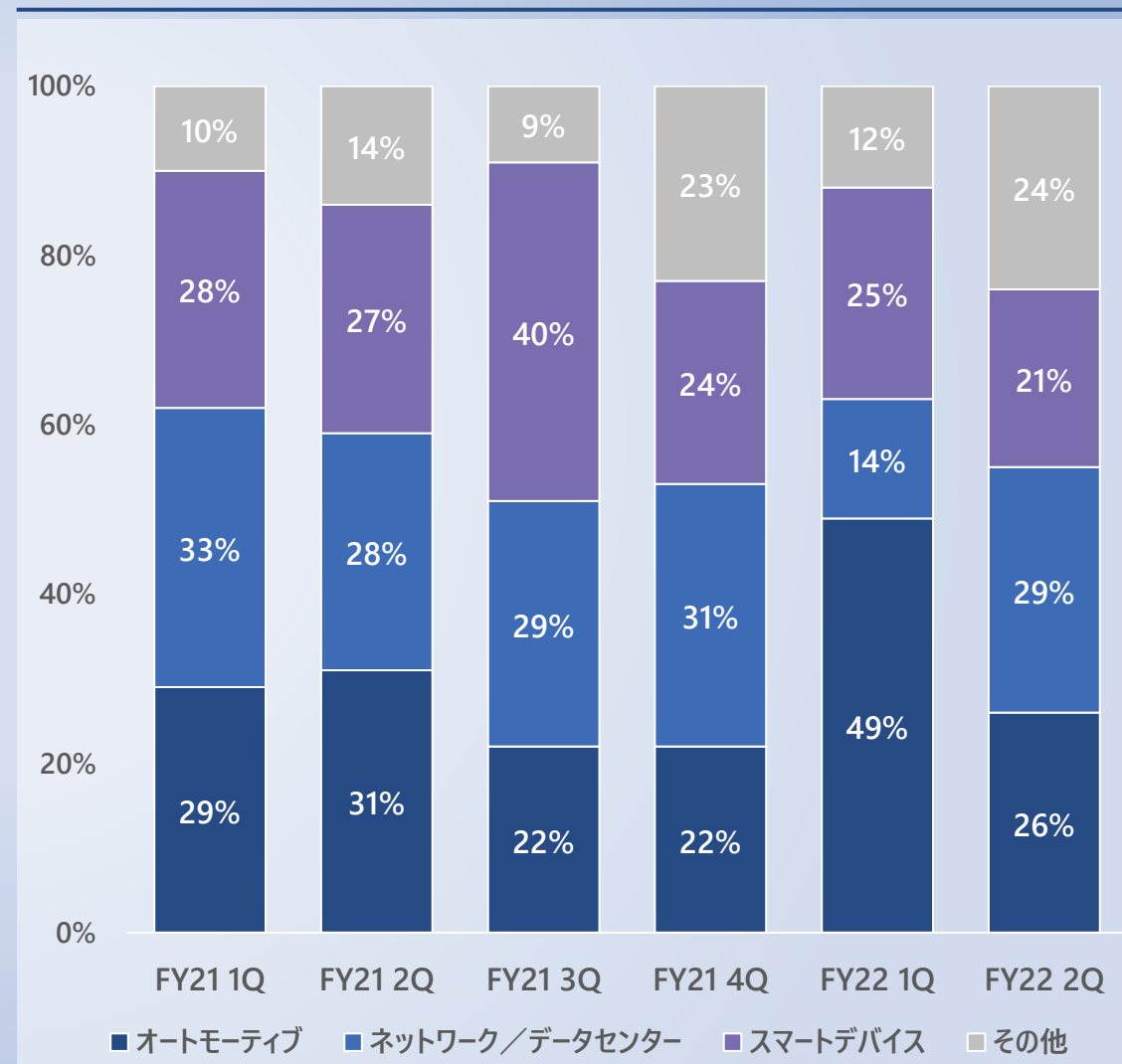


売上の内訳（注力分野別） 四半期別

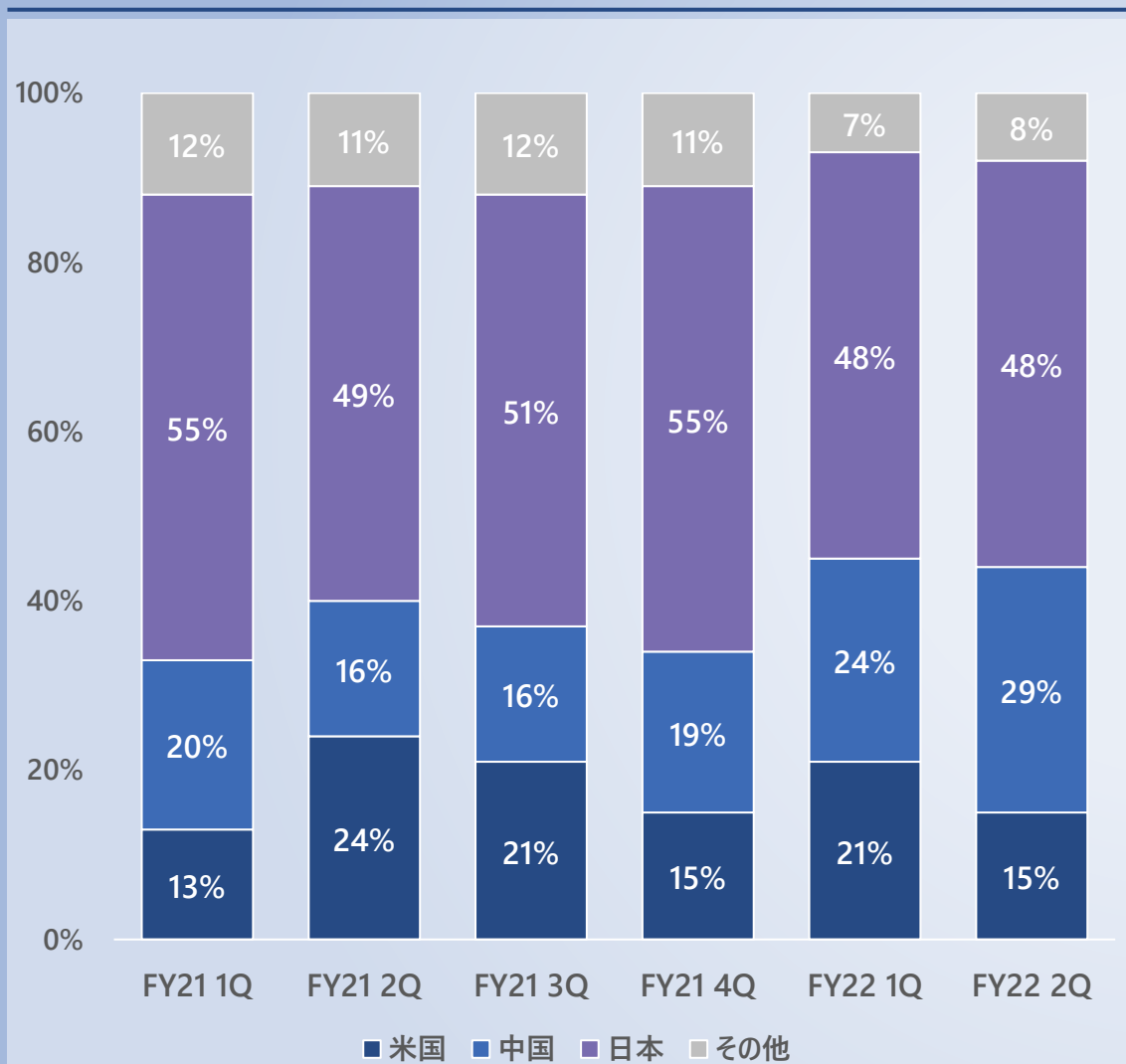
売上高



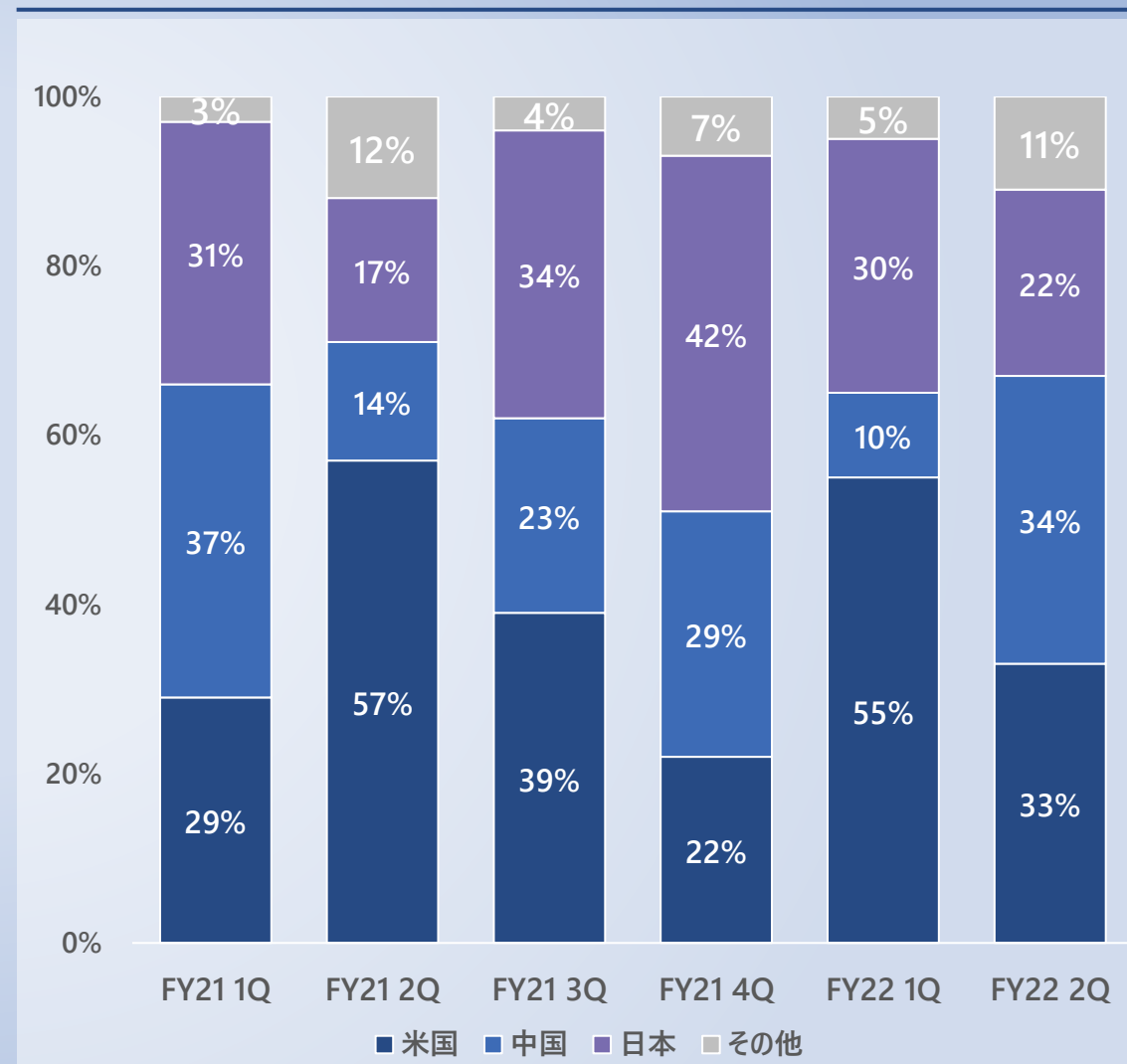
NRE売上



売上高

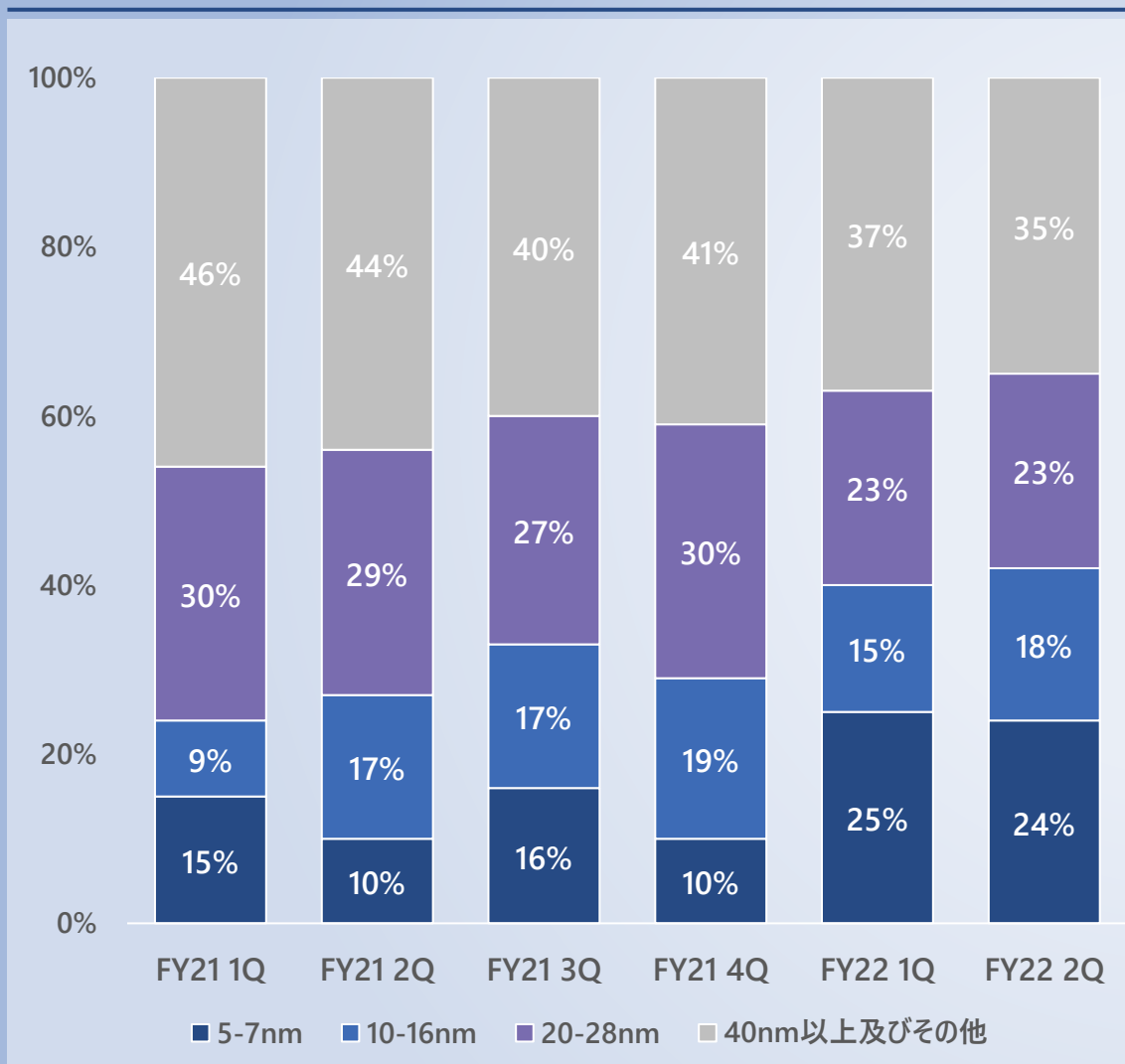


NRE売上

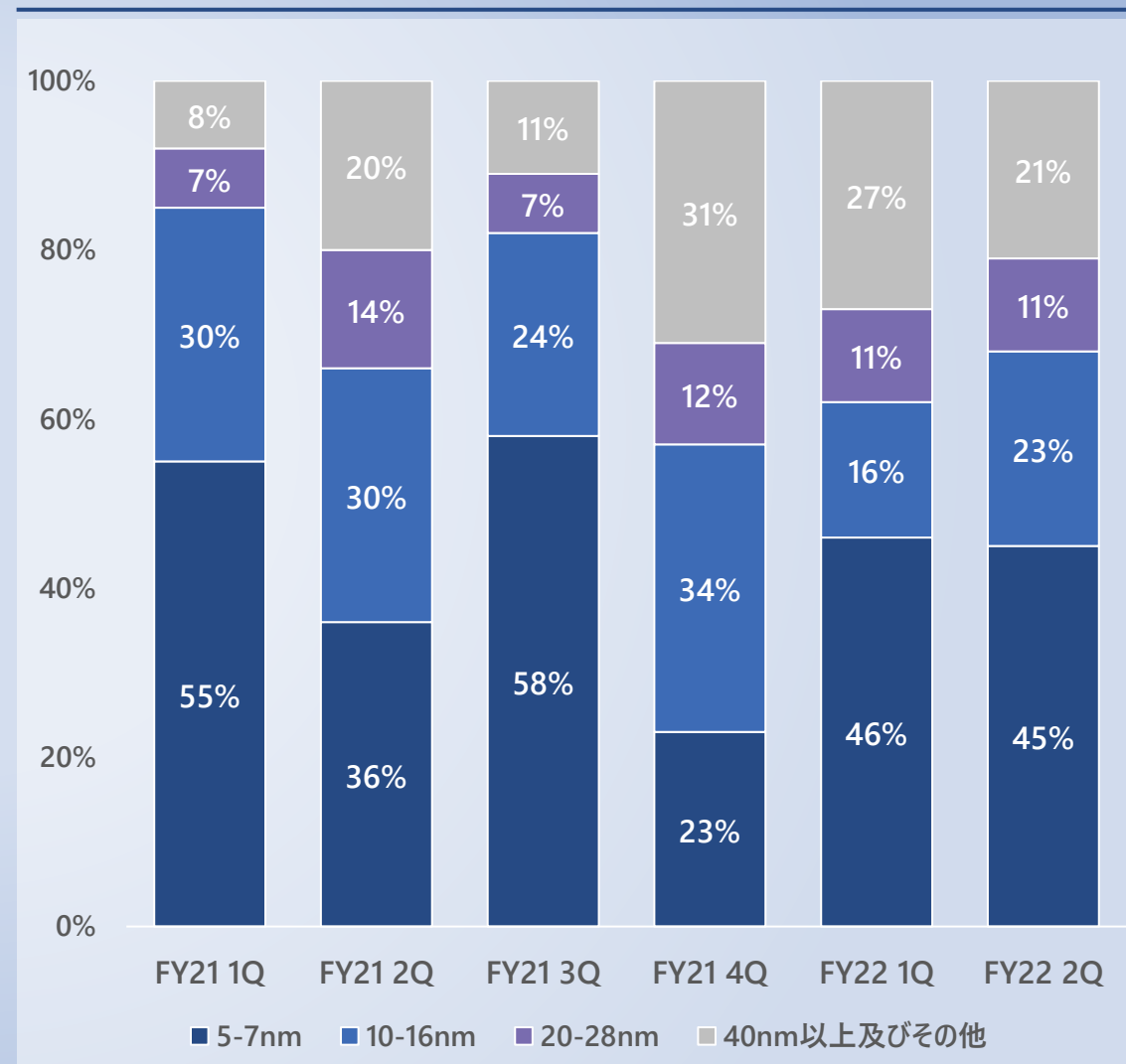


売上の内訳（プロセスノード別） 四半期別

売上高



NRE売上



本資料は、株式会社ソシオネクスト（以下「当社」といいます。）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、米国、日本国又はそれ以外の一切の法域における有価証券への投資に関する勧誘を構成するものではありません。米国、日本国又はそれ以外の一切の法域において、適用法令に基づく登録若しくは届出又はこれらの免除を受けずに、当社の有価証券の募集又は販売を行うことはできません。

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能なあらゆる情報の真実性、正確性及び完全性に依拠し、前提としていますが、その真実性、正確性及び完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。本資料の使用又は内容等に関して生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。本資料には、当社に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」というような表現や将来の事業活動、業績、出来事又は状況を説明するその他の類似した表現が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基に、本資料の作成時点における当社の経営陣の判断に基づいて記載したものであり、また、一定の前提（仮定）の下になされています。そのため、これらの将来に関する記述又は前提（仮定）は、様々なりスクや不確定要素に左右され、実際の結果はこれと大幅に異なる可能性があります。したがって、これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。なお、本資料に記載された情報は本資料の日付（又はそこに別途明記された日付）時点のものであり、新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来に関する記述を変更又は訂正する一切の義務を当社は負いません。

商談獲得金額に関する注意事項

商談獲得金額の算出には、当社による将来の予測や主観的判断が相当程度考慮されています。これらの予測や主観的判断には、量産される製品の販売全期間及び受注が中止される可能性に関する見込みの他、開発計画、開発コスト、NRE売上、製品単価及び将来の製品の販売数量に関する仮定及び見込みが含まれます。製品の販売数量は、顧客から提示された初期的な数量見込みの他、顧客との過去の取引履歴に基づく当社独自の予測、第三者による市場データその他の情報を基礎として判断したものです。製造委託先の受注制限など製造キャパシティによる制約は考慮していません。当社は将来、商談獲得金額の算出方法を変更する可能性があり、また、過去にも変更しています。それゆえ、期間毎の直接的な比較は、中長期的なトレンドを示す以上の意味を有しない可能性があります。商談獲得に関する情報は、当社の管理会計に基づき算出され、経営陣による業績の評価及び戦略・計画の立案のために内部的に作成されているものです。当社は新しいビジネスモデルの下では限定的な期間しか事業を行ってきおらず、かつ、当社の事業では商談獲得から製品売上の計上までの期間が長いため、当社の事業及び将来の見通しを評価するための財務情報は限定的であり、当社の過年度の業績は今後の業績を判断する情報としては不十分である可能性があります。本資料ではあくまで参考情報として商談獲得に関する情報を記載しています。したがって、本資料に記載された商談獲得に関する情報について、過度に依拠することのないようご注意ください。将来情報に関するリスクについては、P24をご参照ください。

socionext™